

## ～「なんばの歩き方」提案マップ～

## 「なんばけーしょんMAP vol.4」を発行します

なんばエリアのアートや文化にスポットを当てたフリーペーパーです

南海電鉄（社長：亘 信二）では、平成21年4月1日から、難波駅を中心としたなんば界隈の観光スポットや老舗の「銘店」などを紹介するフリーペーパー「なんばけーしょんMAP」を発行しています。

そしてこのたび、4号目となる「なんばけーしょんMAP vol.4」を、3月5日（金）に発行し、難波駅1階「総合インフォメーションセンターなんば」や近鉄・大阪難波駅などで配布します。

「vol.4」では、なんばエリアのアートや文化について特集。高島屋史料館や日本工芸館などを取り上げ、古き佳き文化の香りが今も残るなんばエリアの歴史や文化を味わえる街歩きを紹介しています。

当社は、ミナミの活性化を通じて、大阪全体の活性化に貢献したいと考えています。

なんばには、昭和7年に建てられ、昨年再生工事が完了した「南海ビル」をはじめとした歴史的価値の高い建築物や、各種アートを鑑賞・体験できるスポットが数多く存在します。本マップでは、これらを紹介することによって、なんばをよくご利用されるお客さまはもちろん、あまり馴染みのなかったお客さまにも、なんばの魅力をさまざまな角度から知っていただけるよう構成しています。

詳細は別紙のとおりです。



## なんばけーしょん MAP vol.4について

### 1. 名称

なんばけーしょん MAP vol.4

### 2. 発行日

平成22年3月5日(金)

### 3. 掲載内容

「なんばけーしょん MAP」は、南海「難波駅」を中心としたなんば界隈の観光スポットや老舗の「銘店」などを紹介しています。

今号では、「アートを訪ねるなんば文化紀行。」をテーマとして、高島屋史料館や日本工芸館をはじめとする歴史的・芸術的価値の高いスポットを中心に紹介しています。

#### (1) 高島屋史料館

かつて「百貨店通り」と呼ばれた堺筋に唯一残る名残が、旧松坂屋の建物、現在の「高島屋東別館」です。同館は竣工当時「東洋一の百貨店」と称された歴史と伝統のある建物で、その内部に「高島屋史料館」があります。館内には約2万点の芸術品・史料が収蔵されており、無料で鑑賞できます。

#### (2) 日本工芸館

日本工芸館は難波駅の南西に位置する、城郭のような風貌の建物です。日本でも珍しい、民芸品ばかりを集めた博物館で、美術工芸品とは異なる「飾らない美しさ」や「生活の中で育まれた時代背景」などを楽しむことができます。

その他、なんばのアートに触れられるおすすめスポットを紹介しています。

### 4. 設置場所

(1) 南海「難波駅」1階 「総合インフォメーションセンターなんば」

(2) 近鉄・大阪難波駅

上記のほか、これまでバックナンバーで紹介した各店舗内にも設置します(一部除く)。

### 5. 体裁

オールカラー16ページ・冊子形式

### 6. 発行部数

2万部

### <参考> 「なんばけーしょん」携帯サイトについて

内容: 「なんばけーしょんMAP」のバックナンバーをご覧ください

URL: <http://www.namba-c.jp>

call@namba-c.jp へ空メールを送信すると、上記URLが返信メールで届き、そのままアクセスできます。パソコンなどでもご覧いただけます。